

平成30年度入学試験問題（前期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

(高橋和志・山形辰史編著、『国際協力ってなんだろう—現場に生きる開発経済学—』, 岩波書店, 2010年, 177~183ページ, 抜粋・一部改変)

<注>

注1 ブロック化とは, 複数の国や団体が連盟を結び, 経済的に閉鎖的になる, もしくはその傾向があること。

注2 非関税障壁とは, 関税以外の方法によって自由な貿易を妨げる障害のこと。

注3 斜陽産業とは, 需要が少なくなることなどによって衰退した産業のこと。

問1 著者の述べる「グローバリゼーションの意義」について, 500字以上, 600字以内で要約しなさい。

問2 著者の主張に対して, あなたの考えを500字以上, 600字以内で述べなさい。

平成30年度入学試験問題（前期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この小論文の出題の意図は、現代の地域・国際社会で生じる様々な問題に対して、主体的に課題に取り組むうえで必要な能力を備えているかを見ることにある。本学部のアドミッション・ポリシーである①地域や国際社会をめぐる多様な課題への深い関心、②主体的かつ柔軟な課題解決力、③21世紀型市民として必要な学際的教養を身につける意欲の有無を判断するため、問1では現代社会に対するグローバリゼーションの影響を正しく読解することができるか、また問2では、グローバルな競争とローカルな問題との関係を適切に理解したうえで自分自身の考えを整理し、それを論理的に示す力を有するかを問うものである。